

筑西市議会予算特別委員会

会 議 録

(令和4年第1回定例会)

筑西市議会

予算特別委員会 会議録（第3号）

1 日時

令和4年3月16日（水） 開会：午前10時 散会：午後 0時 7分

2 場所

全員協議会室

3 審査案件

議案第19号 令和4年度筑西市一般会計予算
議案第20号 令和4年度筑西市国民健康保険特別会計予算
議案第21号 令和4年度筑西市後期高齢者医療特別会計予算
議案第22号 令和4年度筑西市介護保険特別会計予算
議案第23号 令和4年度筑西市介護サービス事業特別会計予算
議案第24号 令和4年度筑西市病院事業債管理特別会計予算
議案第25号 令和4年度筑西市水道事業会計予算
議案第26号 令和4年度筑西市下水道事業会計予算
議案第27号 令和4年度筑西市農業集落排水事業会計予算

4 出席委員

委員長	藤澤 和成君	副委員長	田中 隆徳君		
委員	鈴木 一樹君	委員	水柿 美幸君	委員	國府田喜久男君
委員	三澤 隆一君	委員	大嶋 茂君	委員	尾木 恵子君
委員	堀江 健一君	委員	秋山 恵一君	委員	赤城 正徳君

5 欠席委員

委員 小倉ひと美君

6 議会事務局職員出席者

事務局長	鈴木 徹君	書記	中島 国人君	書記	谷島しづ江君
書記	川崎 智史君	書記	鈴木久美子君	書記	小倉 一希君

委員長 藤澤和成

○委員長（藤澤和成君） 皆さん、おはようございます。定刻前なのですが、準備できましたので、早速開会したいと思います。本日も大変お疲れさまでございます。

ただいまから予算特別委員会を開きます。

ただいまの出席委員は10名であります。よって、会議は成立しております。

なお、欠席通知のあった委員は、小倉ひと美委員の1名であります。また、秋山委員より遅れる旨の連絡が入っております。

本日も効率的な審査を図るため、質疑の際には予算書や主要事務事業の概要の何ページ、何事業あるいは何費についてからの質疑を示してからお願いしたいと思います。

前回は経済部までの審査が終了しておりますので、本日は土木部から審査をお願いします。

なお、令和4年度より下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計は廃止になり、八丁台土地区画整理事業の予算につきましては、予算書191ページ、土木部所管の土地区画整理一般事務費に含まれております。

それでは、土木部関係について審査をお願いします。

では、質疑をお願いします。

國府田委員。

○委員（國府田喜久男君） 185ページ……

○委員長（藤澤和成君） マイクをお願いします。

○委員（國府田喜久男君） つくば明野北部工業団地周辺整備事業、これ私たちもあそこを見学させていただいたのですが、あの周辺のこの整備、どこがやるのでしょうか。道路と出ているのですけれども。

○委員長（藤澤和成君） 1点でいいですか。

○委員（國府田喜久男君） はい。

あと189ページ、それから駅前・駅東駐車場改修事業、今後の計画とトータルで幾らぐらいかかるのでしょうか。この2点です。

○委員長（藤澤和成君） それでは、順次答弁願います。

初めに、枝土木課長。

○土木課長（枝 俊幸君） 答弁申し上げます。

つくば明野北部工業団地周辺整備事業につきまして、昨年度排水路のほうの1,000掛ける600、幅1,000の高さ600の延長157メートルを行っております。令和4年度にその続きであります150メートルほどの排水路の整備を予定しております。

以上でございます。

（「今までの続き……」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） ちょっと待ってください。まだ答弁ありますから。

続いて、鈴木都市整備課長、答弁願います。

○都市整備課長（鈴木勝利君） ご答弁申し上げます。

駅前・駅東駐車場改修事業でございます。工事としまして、立体駐車場の移動式粉末消火設備改修工事

と耐火被覆の改修工事を令和4年度、予定しております。

なお、令和3年度、本年度におきましては、自動火災報知機と誘導灯、経年劣化のため改修工事を実施しているところでございます。今のところ決算額では3,892万200円でございます。

なお、令和2年度につきましては、改修工事として793万2,750円、令和元年度638万2,110円でございます。令和4年度につきましては、先ほども申し上げた工事でございますが、これ以降につきましては消防設備の点検とか、建物の点検を踏まえまして、計画的に改修工事を実施してまいりたいと思っております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（藤澤和成君） 國府田委員。

○委員（國府田喜久男君） それでは、工業団地は、前私たちが見たその後の続きということですか。

（「そうでございます。外周道路の東側の排水路でございます」と呼ぶ者あり）

○委員（國府田喜久男君） （続）排水、分かりました。

それから、駅前の駐車場なのですが、あそこの駅前のロータリーのところの近くにありますが、あれも入っているのですか。コインの。

○委員長（藤澤和成君） 鈴木都市整備課長、答弁願います。

○都市整備課長（鈴木勝利君） 今回の工事につきましては、立体駐車場の工事でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（藤澤和成君） 國府田委員。

○委員（國府田喜久男君） この「東」というので、では「立体」といえば分かるのですが、東駐車場と言ったもので、分かったのは分かったのですが、文言が東となっていましたので、確認したのもあるのですけれども、以上です。

○委員長（藤澤和成君） よろしいですか。

続いて、赤城委員。

○委員（赤城正徳君） 主要事務事業概要の14ページの玉戸・一本松線整備事業、これは総工費でどれだけの金額がかかるのか。そして、県のほうからのうわさによると、県のほうでその陸橋だの、橋だのは整備してくれるようだという話も聞きましたが、その辺はどうなのでしょう。

それから、この道路に伴って県道つくば線のあの田んぼの中にある野手というスタンドなのですが、あれは県のほうの県道で整備するのだと思うのですが、分かっている範囲で結構なものですから、それをお聞きしたい。そして、それをずっと行くと、今度は県道下館つくば線の中根地内から、あそこの桜川市の酒寄のダイヤモンド工業って大きな庭石が積んであるところがありますね。あれから山王堂の前をって東石田の県道赤浜つくば線のあの一番低いところをって菅間の小学校へ出るやつ、それを筑西市とつくば市で、つくば市だけで整備しても何もならないし、筑西市で整備しても何にもならない。だから、お互いに両方の市でもってタイアップしてあの道路をすれば、つくば市からこの筑西市宮後の下館へどんと来れるのです。それをそのお互いの市で要望し合って、早急に進めるべきではないかなと思っているのですが、いかがでしょうか。

○委員長（藤澤和成君） では、答弁願います。

枝土木課長。

○土木課長（枝 俊幸君） 玉戸・一本松線の総事業費でございますが、これ以前に45億円ということで報告のほうをさせていただいております。その後、まだその精査の段階でございますが、詳細についてはまだ数字が出ていない状況でございます。今のところ45億円というところで総事業費を考えております。

続きまして、県のほうの協力を得てという話でございますが、県のほうの協力につきましては、今のところ県の担当課と協議をさせていただいているところで、結果のほうが全然進捗のほうはまだ報告できる状況ではございませんので、申し訳ないのですが、今のところ協議中というところでお願いいたします。

続きまして、県道つくば線のガソリンスタンドのところですが、これにつきましては県事業でございますが、県のほうと何点か協議のほうが上がってきている状態ではございますが、どういうふうな設計でどういうふうな形で道路を考えているかというのが、まだ計画の段階だということでございますので、分かり次第、報告のほうをさせていただきたいと思います。それに関する要望に対しては、今後これから考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○委員長（藤澤和成君） 赤城委員。

○委員（赤城正徳君） 総工費が約45億円と言いましたけれども、県のほうでもしこの事業に対してお金が出せないというようなことになったときには、筑西市自体でも必ずこの道路は仕上げてもらいたいと思っているのですが、いかがでしょうか。

○委員長（藤澤和成君） 枝土木課長、答弁願います。

○土木課長（枝 俊幸君） 始まった事業ですから、やはり何とかして完成のほうに導きたいと思っております。

○委員長（藤澤和成君） ちょっと待ってください。

阿部土木部長、どうぞ。

○土木部長（阿部拓巳君） 玉戸・一本松線につきましては、筑西市の内環状を構成する非常に重要な路線ということで位置づけられまして、その事業費の捻出もそうなのですが、こちらについては今着手しているということで用地の買収も済んでおります。そういったことで、今後進捗については図っていききたい、そういうふう考えているところでございます。

○委員長（藤澤和成君） 赤城委員。

○委員（赤城正徳君） ここには山口企画部長もおりますけれども、企画部長にお願いするのですが、土木費の費用は削らないで増やしてください。どんどん、どんどん。

（「そうだ、そうだ」と呼ぶ者あり）

○委員（赤城正徳君） （続）必ずや筑西市は土木費にかけないと、道路網が駄目です。今年は来年より多少減っているようですが、企画部長、どうぞ土木費は削らないで上げてください。ひとつ要望です。よろしくお願いいたします。

○委員長（藤澤和成君） 答弁しますか。いい。

山口企画部長、答弁願います。

○企画部長（山口信幸君） ご要望ということでありがとうございます。確かに生活道路として道路は非常に重要というふうに考えておりますので、必要な予算のほうは確保できるように対応していきたいというふうに考えております。

以上です。

(「よろしくお願いします」と呼ぶ者あり)

○委員長(藤澤和成君) そのほか。尾木委員。

○委員(尾木恵子君) 予算書187ページの鬼怒川・小貝川流域道路排水対策事業(旧鬼怒プロ関連事業)ということなのですが、その一番下のところのリバースポット整備工事費ということで、これ船玉地内ということの説明をいただきましたけれども、ちょっとどういうものなのか、ご説明をお願いします。

それともう1つが195ページの公園維持管理事業、これの工事請負費の中の公園施設改修工事費ということなのですが、これもどの公園というのがもう決まっているのかどうか、ちょっとその辺もお伺いします。

以上です。

○委員長(藤澤和成君) では、リバースポットについて、枝土木課長、答弁願います。

○土木課長(枝 俊幸君) 答弁いたします。

リバースポット工事につきましては、サイクリストによります自転車のスタンドがないものが多いということで、そのサイクルスタンド等を設置する事業でございます。

排水路の整備工事としましては、船玉の排水路の整備工事でございます。

以上でございます。

○委員長(藤澤和成君) では、続いて鈴木都市整備課長、答弁願います。

○都市整備課長(鈴木勝利君) 公園施設の改修工事の内訳でございます。これにつきましては、公園につきましては遊具の点検、年に1度専門業者に遊具の点検をお願いしているところでございます。そのほか保守点検等をやっていただいておりますので、その結果に基づきまして修繕が必要なもの、あとは改修が必要なものを実施しているところでございます。特に令和4年度につきましては、公園のトイレの洋式化ということで2か所洋式化を検討しているところでございます。令和3年度も2か所洋式化をしているところでございます。

尾木委員のご質問で一般質問での答弁は、最後答弁まで至らなかったのですが、質問がございました。下岡崎近隣公園につきましては、平成12年に公園が設置されているところでございます。この公園につきましては、子供からお年寄りまでたくさんの方が利用されている公園でございます。令和3年度には女子トイレの洋式化を進めたところでございます。バリアフリートイレもございますが、ドアの鍵がちょっと壊れていますので、至急直したところでございます。来年度につきましても、男子トイレのほうの一部便器が破損しているところがありますので、そこら辺は修繕をしました。あとはほかの公園等もありますので、そこら辺も併せて洋式化を進めていきたいと思っております。あと、そのほかにつきましては、公園で点検の結果、危ないとか、そういうものにつきましては、緊急性の高いものについては撤去してまいりたいと思っています。

以上でございます。

○委員長(藤澤和成君) 尾木委員。

○委員(尾木恵子君) すみません。リバースポットのほうなのですが、サイクルスタンドがないって。これは、要するにあそこの今すぐ整備を堤防の上きれいにやったださっていますけれども、あそこを要するにサイクリングロードとして使用するために、その自転車を止めるところがないという意味で言っているのですか。ちょっとその辺もう1度詳しく説明してください。ただスタンドがないからスタンドを

造るというのでは、ちょっと分からないので。

それと、公園のほうはこの間一般質問をちょっと通告していたのにできなくて申し訳なかったのですが、本当に女子トイレはすごくきれいに改修してもらって、ありがとうございます。ただ、狭いですよね。トイレの中というか、個室自体の中が狭くて、今1つしかないでしょう。あれだけの人数が来たり、あそこは避難所にもなるわけだから、一時的な。それにしてもちょっとトイレが少ないかなというのが、あそこしかないですよね、公園の中に1か所しか。だから、もう1つ別に新たに設置するとか、今あるところをもうちょっと増設してもらいたいとかという部分の思いがあるのですが、その辺の今後の計画がもしあればお聞かせいただきたいと思います。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） では、初めに枝土木課長、答弁願います。

○土木課長（枝 俊幸君） 答弁いたします。

先ほどのサイクルスタンドなのですが、こちらに関しましては、休憩所等に設置するサイクルスタンドでございます。例えば小貝川であればカサ・デ・ロサとかがリバースポットとして、そういうところを設けておりますので、カサ・デ・ロサだったり、黒子橋の北側とか、そういうところに設置するスタンドでございます。鬼怒川に関しては沖稲荷神社であったり、鬼怒緑地公園のところであったりというところでございます。

あとは、先ほどの船玉の排水路の整備につきましては、内水対策として整備をするものでございまして、250メートルを分割して令和7年度までということで工事のほうを行っております。

（「……聴取不能……」と呼ぶ者あり）

○土木課長（枝 俊幸君） （続）サイクルスタンド設置箇所は、8か所ぐらい予定しております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） では、続いて鈴木都市整備課長、答弁願います。

○都市整備課長（鈴木勝利君） 下岡崎近隣公園のトイレの状況でございます。トイレにつきましては、男子トイレが大と小、女子トイレが1か所、そのほかに現在は障害者専用トイレということで設置されております。建物につきましては大きさが決まっておりますので、今その工夫としまして、障害者専用トイレをユニバーサルトイレというか、バリアフリートイレという形で表示をしまして、誰もが利用できるような形で表示等を考えております。

あとはトイレの数でございますけれども、公園93か所ありますので、全体を踏まえながら検討してまいります。当面は建物内で利用しやすいような、誰もが利用しやすいように、特に洋式化については検討してまいりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（藤澤和成君） 尾木委員。

○委員（尾木恵子君） ありがとうございます。このリバースポットという部分は、今8か所ということなのですが、このカサ・デ・ロサってレストランですよね、のことだよね、関城の。こういうふうになんかあるところに止めるという部分で8か所というのは、この8か所というのは小貝川で8か所なのか、鬼怒川のほうも入れての8か所なのか。これ具体的に8か所というのはもう決まっていると思うのですが、どの辺なのでしょうか、具体的に場所をお願いします。

○委員長（藤澤和成君） では、枝土木課長、答弁願います。

○土木課長（枝 俊幸君） 鬼怒川で3か所、小貝川で5か所でございます。小貝川につきましては、先ほど申しましたリバースポットなのですが、農家レストランカサ・デ・ロサ前と黒子橋北側、母子島遊水地、成田スポーツ公園、川澄旧線跡ということでございまして、5か所ありまして、鬼怒川でリバースポットとして3か所、沖稻荷神社、漁協ふ化場周辺、あと鬼怒緑地公園の3か所でございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） それから、補足で浅野土木部次長が答弁します。

○土木部次長（浅野貴浩君） 少し補足させてください。

鬼怒川が3か所、それから小貝川で5か所のリバースポットの整備計画を予定しております。下館河川事務所と国と一緒に調整しながら整備するのですが、国のほうで基盤整備をやっていただくと。盛土ですね。上物整備として筑西市のほうで整備すると。その整備の内容がサイクルスタンドと、あとベンチとかいうのを整備を筑西市のほうでやるということで調整しているところでございます。

○委員長（藤澤和成君） 以上です。

続いて、大嶋委員。

○委員（大嶋 茂君） ページ183、伊佐山排水樋管維持管理事業なのですが、これ委託先は決まっておるのでしょうか。また、積立金、当然これはこれが古くなったための更新するための積立金であると思えますけれども、これ毎年あるのか。これが1点。

次に、ページ185、玉戸・一本松線整備事業、その中で公有財産購入費、これはどういうものなのか。

次に、ページ197、市営住宅維持補修事業、この工事費の中で市営住宅等改修工事、これは何棟なのか。解体撤去工事、何棟なのか。また、今後の見通し、かなり古い市営住宅あると思うのですが、今後の見通しはいかがなのか、この3点についてお尋ねします。

○委員長（藤澤和成君） では、順次答弁願います。

初めに、長本道路維持課長。

○道路維持課長（長本敏介君） まず、委託先でございますけれども、こちらにつきましては、消防防災課のほうと一緒に確認してまいりたいと思います。

あと、その積立金でございますけれども、こちらにつきましては、昭和電工マテリアルズと、あと東日本コンクリートさんからいただくような形で考えております。昭和電工マテリアルズから月5万9,000円の12か月で70万8,000円、東日本コンクリート株式会社から、こちらにつきましては4万6,600円の12か月で55万9,200円で、合計126万7,000円をいただきまして、積立金ということで充当させていただいております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、枝土木課長。

○土木課長（枝 俊幸君） 玉戸・一本松線整備事業の公有財産購入費といたしまして1億1,000万円の予算でございますが、こちらは用地購入費としまして約1万5,000平米を予定しております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） では、続いて渡辺建築課長、答弁願います。

○建築課長（渡辺正法君） ご答弁申し上げます。

工事請負費4,881万円につきましては、市営住宅室内改修工事としまして約4戸を予定しております。こ

ちらが860万円程度となっております。みどり町市営住宅のエレベーター補修工事、こちらが200万円程度、あと外壁塗装1棟、玉戸南1棟、屋根改修工事、中館市営住宅5戸、それと火災報知機交換工事ということで玉戸南、みどり町、岡芹、宮本で190個を予定しております。

続きまして、市営住宅解体撤去工事費につきましては、現在のところ3棟3戸を予定しております。また、鷹ノ巣市営住宅におきまして高架水槽受水槽の撤去を予定しております。

それと、今後の見通しでございますが、市営住宅につきましては現在大分古い住宅等もございます。こちらにつきましては、入居者の方々が退去した後、順次解体をしているような状況でございます。今後につきましても予算に応じて解体のほうは進めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○委員長（藤澤和成君） 大嶋委員。

○委員（大嶋 茂君） 現在この市営住宅については何戸あって、その空いている市営住宅は何戸あるのか、そこから聞きたいと思います。

○委員長（藤澤和成君） いいですか。

○委員（大嶋 茂君） はい。

○委員長（藤澤和成君） では、全体の戸数と入居率について、渡辺建築課長、答弁願います。

○建築課長（渡辺正法君） ご答弁申し上げます。

現在市で管理しております住宅につきましては626戸になっております。入居者につきましては457戸ということで、入居率につきましては73%となっております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 大嶋委員。

○委員（大嶋 茂君） その残りは空いているわけですか。

（「そういうことです」と呼ぶ者あり）

○委員（大嶋 茂君） （続）空いているわけね。そうすると、その空いているものについて、これは管理費がかかると思うのです。何か使わない古いやつは、もう予算があれば早く撤去したほうがよろしいのではないかと思います。そして、その土地を有効利用するという方法も必要ではないかと思うのです。

確かに私ら見ていて、かなり古い住宅がそのままになっている。そうすると、やっぱり景観も悪いし、その地域の犯罪なんかにもつながっていくような気がするのです。撤去費、これ見ると解体撤去、こういったものをもうちょっと予算かけて、放っておくのではなくて、どんどん進めていったほうがよろしいのではないかと。その土地の利用、有効利用、それも考えていく必要があるのかなど、私大田地区なのですが、大田地区にも古い市営住宅あります。住んでいる方にとってもちょっと物騒だというような気もします。行政としてはやっぱりそういった点も、ただ予算の範囲、予算の範囲ではなくて、計画的な撤去、こういったものが需要ではないかと思います。新年度予算でもこれは上がっていますけれども、来年度からちょっと早急に進めていっていただきたいなと思います。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 答弁いいですか。

○委員（大嶋 茂君） はい、いいです。

○委員長（藤澤和成君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） 主要事務事業のほうで14ページの玉戸・一本松線と、これ18ページにも義務教育

の整備事業が載っております。これはこの案件ということではなくて、総体的な話なのですが、この継続費でやっている事業なんか特にだと思えます。恐らく来年度発注の事業というのは、今年度に恐らくほぼほぼ設計が終わっていて、それで応札という形で発注するのだと思うのですが、今、4月からというのが多いらしいですが、物すごく強烈な材料費高騰があります。恐らく今の世界状況、情勢を考えると、これ止まらないと思えます。そういった中で物価単品スライドというのですか、材料費の、そういったものがあると思いますが、これは我が市ではこの単品スライド条項なんかどういうふうな設定をしているのか、その仕組み。

それと、結局何でしょう、今、継続でやっているその学校の整備事業なんかも特にそうだと思いますが、もう発注が済んで、継続費でやっているもの、そういったものは設計変更も含めて材料費高騰による設計変更なんかの有無、また申請なんかがあるのかどうか。このスライド条項に対して、そういう案件が実態としてあるのであれば、その件数で結構ですので、教えていただきたいと思えます。

○委員長（藤澤和成君） 田中委員、学校については教育委員会のほうでもちょっと聞いてもらっていいですか。

○委員（田中隆徳君） 一般的にはその材料費高騰については、こっちだと思うので。

○委員長（藤澤和成君） 分かりました。

では、枝土木課長、答弁願います。

○土木課長（枝 俊幸君） 答弁いたします。

スライド条項等につきましては、契約検査課のほうと関連しておりますので、契約検査のほうと協議をしながら、その辺の対応は進めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○委員長（藤澤和成君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） 何が言いたいかという、それは契約検査課、そうかも分かりません。そういうことではなくて、考え方ですね。材料費が高騰している中で実施設計を組むに当たって、そういうのが反映されているのかどうか、反映するのか。また、発注後、考え方として、それも織り込み済みで応札をしているのだろうと、契約をしているのだろうという考え方もあるかも知れません。しかしながら、そういったものがやはり下請さんだったり、またその下にいる労務者さんだったりに跳ね返ってきたのでは本末転倒なのかなということなので、その設計の考え方です。あくまでもそれは契約検査課だからとかではなくて、材料費が高騰している中で代価表でやと思うのですが、その代価表も変更しないとそういうふうについていけないですよ。だから、その辺の考え方を聞きたいのです。

○委員長（藤澤和成君） 枝土木課長、答弁願います。

○土木課長（枝 俊幸君） ご答弁いたします。

設計の資材の単価だったり、設計の歩掛かりだったりの話だと思いますが、こちらに関しましては、県の土木の単価でありましたり、国のほうの単価を使用したりということで、今の現状よりは遅れて単価改正とかが来るような状況でございます。その段階で設計のほうを変更するような形になりますので、早い段階での対応ということになると、今後のそういう設計の見直しが出来ない限りは、設計のほうの今ある現状の設計の単価のほうで設計のほうをさせていただくような対応でいきたいと考えております。

○委員長（藤澤和成君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） では、最後、分かりました。ぜひ注視していつてもらいたいと思えます、その単

品スライドについては。

そういった中で、やはりその大型案件、小規模ではなくて大型案件、またこれは教育委員会だということで、それはこれからの玉戸・一本松線も含めて大型案件についてちょっとあれなのですが、やはりその発注者が責任を持って、そのいろいろな仕組みがあると思うのです。大型物件については、下請さん、孫請さん。やはりその辺の賃金代価表、この辺は時には調査を入れて、やはり適正にそういうふうな契約が行われているのかどうか。先ほど言いましたが、これだけ強烈な材料費が高騰していますから、どこかに必ずしわ寄せが行くはずなのです。その辺も徹底して、やっぱり発注者としての監督、よろしく願いいたします。

○委員長（藤澤和成君） 答弁いいですか。

○委員（田中隆徳君） はい。

○委員長（藤澤和成君） 以上で土木部関係を終了いたします。

土木部の皆様、お疲れさまでした。

〔土木部退室。上下水道部入室〕

○委員長（藤澤和成君） 次に、上下水道部関係について審査を願いますが、初めに一般会計の審査をしていただき、水道事業会計、下水道事業会計、農業集落排水事業会計の順で審査を願います。

それでは、一般会計の審査を願います。

質疑を願います。

大嶋委員。

○委員（大嶋 茂君） これはページ192、193、団地排水施設維持管理事業なのですが、この団地排水施設というのは現在何か所ですか、まず。

○委員長（藤澤和成君） いいですか。

○委員（大嶋 茂君） はい。

○委員長（藤澤和成君） では、答弁願います。

岡本下水道課長。

○下水道課長（岡本崇生君） 答弁申し上げます。

大田郷、鷹ノ巣、幸町の3か所でございます。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 大嶋委員。

○委員（大嶋 茂君） そうしますと、これ全部項目が関連しておりますので、関連した質問をしたいと思えます。

この修繕事業、これは4か所、今回何か所に計画がなされておりますか。何か所修繕あるか、ちょっとお願いします。

○委員長（藤澤和成君） 岡本下水道課長、答弁願います。

○下水道課長（岡本崇生君） 答弁申し上げます。

今のところ突発的な修繕に備えまして予算計上をしているもので、特に予定はしておりません。

○委員長（藤澤和成君） 大嶋委員。

○委員（大嶋 茂君） では、分かりました。

次に、特別会計は後で別だよね。では、結構です。

○委員長（藤澤和成君） いいですか。

よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） では、以上で一般会計の審査を終わります。

次に、水道事業会計について審査をお願いします。

質疑をお願いします。

國府田委員。

○委員（國府田喜久男君） ページ403、この事業は20億円を超える大きな……

○委員長（藤澤和成君） すみません。マイクを近づけてもらっていいですか。消えてしまった。

○委員（國府田喜久男君） 20億円を超える大きな事業なのですが、給水戸数、これ3万5,200戸となっておりますが、この5年間ぐらいの推移を教えてくださいなのですが。

○委員長（藤澤和成君） 以上でよろしいですか。

○委員（國府田喜久男君） それから、2番目、年間給水量の見通し、それから1日平均の給水量の見通し、これも予算に関係あると思いますので、この辺のところを聞かせてください。

○委員長（藤澤和成君） それでは、答弁願います。

澤部水道課長。

○水道課長（澤部明典君） 答弁申し上げます。

ただいまのデータのほうが手元にないので、詳細については後でご説明差し上げたいと思いますが、給水戸数に関しましては微増ながら増になっております。

続いて、給水量でございますが、給水戸数と同じように増になっております。

以上でございます。

（「1日平均とか、その辺があれば」と呼ぶ者あり）

○水道課長（澤部明典君） （続）1日当たりの平均有収水量も同じように増になっております。

（「どのぐらいの量……」と呼ぶ者あり）

○水道課長（澤部明典君） （続）昨年と比較しまして、有収水量が1万2,000立米、1日平均有収水量が33立米でございます。

○委員長（藤澤和成君） 國府田委員。

○委員（國府田喜久男君） 人口減の中でこの給水量が微増というのはどういうふうに分しているのでしょうか。

○委員長（藤澤和成君） 澤部水道課長、答弁願います。

○水道課長（澤部明典君） ご答弁申し上げます。

人口は減になっておりますが、給水戸数、いわゆる住宅地の開発等がございまして、戸数のほうは増えている状況でございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 國府田委員。

○委員（國府田喜久男君） 分かりました。

○委員長（藤澤和成君） いいですか。

そのほかよろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） 以上で水道事業会計の審査を終わります。

次に、下水道事業会計について審査をお願いします。

質疑をお願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） 次に、農業集落排水事業会計について審査をお願いします。

質疑をお願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） 以上で農業集落排水事業会計の審査が終わりましたので、上下水道部関係を終わります。

上下水道部の皆様、お疲れさまでした。

〔上下水道部退室。会計課入室〕

○委員長（藤澤和成君） 次に、会計課関係について審査をお願いします。

では、質疑をお願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） 以上で会計課関係を終わります。

会計課の皆様、お疲れさまでした。

暫時休憩いたします。

〔会計課退室。教育委員会入室〕

休 憩 午前 10 時 42 分

再 開 午前 11 時

○委員長（藤澤和成君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

それでは、続いて教育委員会関係について審査をお願いします。

それでは、質疑をお願いします。

國府田委員。

○委員（國府田喜久男君） 209ページ、いいですか。

○委員長（藤澤和成君） どうぞ。

○委員（國府田喜久男君） 教育費会計年度任用職員給与関係経費ということでありますが、1億1,700万円かかっているのですが、会計しているのですが、どういう部分で何人なのでしょう。まず、それ1つ。

それから、215ページ、原子力・エネルギー教育支援事業、これ備品とは何でしょうか。

もう1つ、229ページ、文化財保護参画事業、全国南朝の歴史資産等所在市町村活性化協議会負担金、これ長くて難しいのですが、これちょっと分からないのですよね、何なのか。

それから、同じ229ページ、文化振興事業、この委託料です。239万円。この文化運営委託料というのは、文化祭か、どういうものでしょうか。

最後ですけれども、231ページ、地域交流センター改修事業、これが3,370万円。どこをどんなふうに改修するのでしょうか。これです。

○委員長（藤澤和成君） では、順次答弁を願います。

初めに、根本学務課長。

○学務課長（根本 薫君） 学務課の根本と申します。最初に、会計年度任用職員の給与関係経費についてお答えいたします。

まず、人数ですが、全体で51人分の予算を計上してございます。内訳ですが、教育委員会学務課に限らず教育委員会全般の事務補助員が13名、それから学校の用務員が19名、幼稚園の用務員が1名、幼稚園の先生が3名、給食センターの管理栄養士が1名、地域交流センターや公民館などの施設関係の管理業務の職員が4名、美術館の学芸員が2名、美術館の監視員が8名で51名分の予算を計上してございます。

続きまして、原子力・エネルギー教育支援事業の備品購入費の内容でございますが、こちらにつきましては、プログラミングの仕組みを学ぶ電気のME S Hセットというものを購入いたします。内容ですが、1つ1つ例えば人感センサーで触れると電気がつくとか、温度が上がるとモーターが回るとか、そういった幾つかのセンサーが7つほどあるのですけれども、それを組み合わせてプログラミングの勉強をするための道具ということで、直接原子力とは関係ないのですけれども、電気の仕組みを学ぶための研修セットという内容でございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、成田文化課長、答弁願います。

○文化課長（成田佳輝君） 文化課、成田です。國府田委員のご質問についてお答えいたします。

まず、全国南朝ゆかりの歴史の会の件でございます。全国南朝ゆかりの歴史的、文化的資源が所在するまず市町村がその資源の活用等の相互の支援を通して親睦交流を深め、地域住民の誇りや地域への愛着心の醸成、地域活性化を図るため、協議会への加盟市町村の負担金ということになります。加盟市町村につきましては、全国16市町村になってございます。こちら筑西市につきましては、副会長という立場になってございまして、会長は奈良県の吉野町ということでございます。昨年につきましては、全国の総会がコロナの影響のため開催できませんでしたので、オンラインということで、市長参加の下、総会ということで実施しております。

続きまして、文化祭の委託金になります。こちらにつきましては、筑西市の文化祭運営委託を筑西市内にございます各地区の文化協議会、そちらに委託してございます。下館地区の文化祭は下館地区文化祭運営委託としまして下館地区の文化協議会、関城地区もそのとおりで、明野地区、協和地区ということで、それぞれの文化協議会の文化祭の運営委員会に委託ということで行っております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 続きまして、海老澤地域交流センター長、答弁願います。

○地域交流センター長（海老澤敦司君） 地域交流センター、海老澤でございます。地域交流センター改修事業についてご説明申し上げます。

この中で需用費と申しますのが施設内の緊急修繕、漏水だったり、トイレの改修だったり、そういった

ものの修繕に充てます。委託料につきましては、3階美術館の回廊が雨漏りをしておりまして、こちらの設計委託、あとは工事管理に充てます。

続きまして、工事請負費でございます。こちらにつきましては、3階回廊の雨漏りの修繕工事ということでございます。そのほか修繕の部分でございますが、地下の防災設備、泡消火器等の改修、こちらが一番金額が大きいもので、1,760万円を予定しております。次に、空調機器、こちらの冷温水ポンプの交換ということで、更新工事2台で253万円を検討しております。合わせて3,376万7,000円でございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 國府田委員。

○委員（國府田喜久男君） 209ページのほうの各人数、これは後でメモでいただいていいでしょうか。速くてちょっとメモできなかったのですが。メモでいただいていいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員（國府田喜久男君） （続）それから、この原子力・エネルギー教育支援事業の部分なのですが、これは各学校に置くということですか。それとも、どういうところでこれを使うのでしょうか、原子力の。

○委員長（藤澤和成君） 以上でいいですか。

○委員（國府田喜久男君） それから、この全国南朝ですけれども、南朝の部分。ここ筑西市ではどこを指すのでしょうか、南朝時代って。南朝時代ということですよ。これはどこの地域なのでしょう。これを教えていただきたいのですが。

それから、雨漏りというのですけれども、あんな近代的な建築で雨漏りすると、ちょっと考えられないのですが、するのでしょうか。するのでしょうかね、もちろん。

○委員長（藤澤和成君） するのでしょうかね。

○委員（國府田喜久男君） それだけです。

○委員長（藤澤和成君） では、初めに根本学務課長、答弁願います。

○学務課長（根本 薫君） お答えいたします。

先ほどの研修セットの配置先ですが、小学校の5校に配る予定でございます。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、成田文化課長、答弁願います。

○文化課長（成田佳輝君） お答えいたします。

南朝関係の指摘になりますが、まず伊佐城跡、それから関城跡、それから大宝城跡ということになります。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 海老澤地域交流センター長、答弁願います。

○地域交流センター長（海老澤敦司君） 地域交流センターでございますけれども、アルテリオの建物は築18年になります。見た目は新しい近代的な建物なのですが、至るところに老朽化が進んでおります。特に東面に関しましては、ガラス張りになっておりますので、ガラスの隙間というか、シーリングですね、こちらの劣化が激しいということで、雨の強い日にはガラスに伝わって内部まで雨漏りがしているような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 國府田委員。最後。

○委員（國府田喜久男君） 気になるのは、小学校のこの5校なのですが、それと中身、原子力・エネルギー教育支援なのですけれども、この原子力の基礎的な部分ということなののでしょうか。この5校に配置するということになると、その機械というのはどういうものなのでしょう。

○委員長（藤澤和成君） 根本学務課長、答弁願います。

○学務課長（根本 薫君） お答えいたします。

今回購入する備品ですが、プログラミングの原理を学ぶような研修セットでございまして、原子力の仕組みとは直接は関係ございません。補助金の内容が原子力を含めたエネルギー関係の勉強をするための機材の購入ということでして、今回筑西市で購入するのは、その電気の仕組みを学ぶための研修セットということでございます。

○委員長（藤澤和成君） よろしいですね。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） 鈴木委員。

○委員（鈴木一樹君） よろしく申し上げます。私のほうからは、予算書の215ページの下段のほうの心の教室相談員運営事業796万1,000円の部分なのですが、私は12月の議会において子供たちの支援体制づくりという形で質問した際に、部長答弁で中学校のみに相談員を各1人ずつ配置していると伺ったのですが、今回も1人ずつの配置なのか、教えていただければと思います。

あともう1点、確認なのですが、現在市内にいるスクールカウンセラーは7人という形でお伺いして、その7人は県費で配置されているとお伺いしましたが、市独自で配置をされているのであれば、どこにその予算がついているのか、お伺いできればと思います。お願いします。

○委員長（藤澤和成君） 以上、2点ね。

では、答弁願います。野口指導課長。

○指導課長（野口 修君） 指導課、野口でございます。最初に、ご質問があった心の教室の相談員につきましては、令和4年度については、令和3年度と同様、中学校各1名、7名の配置ということになります。

次に、スクールカウンセラーについてですけれども、こちらは全て県費ということになってございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 鈴木委員。

○委員（鈴木一樹君） この心の教室相談員を中学校に各1名ずつ置いて、小学校に置かない理由とかというのはあるのですか。教えてください。

○委員長（藤澤和成君） では、野口指導課長、答弁願います。

○指導課長（野口 修君） カウンセラーですか。スクールカウンセラー。

（「心の教室相談員です」と呼ぶ者あり）

○指導課長（野口 修君） （続）失礼します。小学校にも必要というご意見もあるかもしれませんが、小学校においてはやっぱり落ち着きのない児童、なかなか授業に集中できない児童などがおりまして、その分生活指導員という形でたくさんのスタッフを配置させていただいておりまして、今の現状の中では心の教室相談員は配置してございません。その分スクールカウンセラーが拠点校から小学校に行きまして、

月1回とか2回とか、そういうところで学校を巡回しまして、相談を受けるという体制を今は取っております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 鈴木委員。

○委員（鈴木一樹君） 分かりました。そうしたら、スクールカウンセラー、県費で賄っているという話だったのですが、市独自で必要な場合とかがあれば非常勤だったりとか、常勤の方を増やしてもいいのかなと思うので、これは要望としてさせてもらえればと思います。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 答弁はいいですね。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） 三澤委員。

○委員（三澤隆一君） お疲れさまです。4点ほど質問させていただきたいと思いますが、予算書の215ページ、先ほど鈴木委員からもありましたが、一番最下段、心の教室相談員運営事業ということで、昨年対象者、相談があったのが2,065回としか言われたと思うのです。そのうち解消したのが1,145人ということであるので、今年、今年度対応した人数と相談を受けた総数、それをお伺いしたいのと。

あと、その2つ上の生徒指導対策支援員配置事業、これはこういった職業の方がこういった担当、仕事の内容をするのかということです。これをお聞きしたいと思います。

それと、221ページ、これは下から2番目の部活動指導員配置事業、これは市内の7校、7中学校で何人確保できたのか。あと、その下の旅費41万円入っているのですが、この旅費というのは具体的に何に使うのか、これを伺いたいと思います。

それと最後、225ページの最下段、二十二歳の集い開催事業ということで、部長のほうから質問のときに中座議員の質問のときに回答あったのですが、裏を見ると手話通訳委託料とあるのですが、これ何となく内容が決まっているのかなと思ったので、ちょっと大まかな方向性でも決まっていれば教えていただきたいなということです。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） それでは、答弁願います。

初めに、野口指導課長。

○指導課長（野口 修君） お答えいたします。

最初に、心の教室相談員の相談件数等なのですが、まだ年度末の集計については今週学校からご報告いただきますので、ちょっと正確な数字がまだございませんが、同じぐらいの件数の相談があると思います。

それから、生徒指導対策支援員につきましては、やっぱり学校が落ち着いて秩序ある生活ができるようにということで、そういう環境を確保するために、特に暴力行為とか、非行行為、授業を離脱してしまうて授業に来ないような生徒に、指導や見守りということで配置しているものでございますが、現在多くの中学校でも落ち着いた環境で、そのような生徒はほぼいないという形にはなっております。

あと、部活動指導員についてお答えいたします。部活動指導員につきましては、令和3年度は下館北中学校の卓球部に1名配置してございます。令和4年度に関しては5名配置する予定で、今計画を立ててお

ります。令和3年度については、2名配置する予定だったのですが、お一人がご辞退されたということで、1名の配置になりました。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、根本学務課長、答弁願います。

○学務課長（根本 薫君） 部活動指導員の旅費についてお答えいたします。

これにつきましては、名目が旅費となっていますが、通勤手当に相当するものでございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 最後、寺内生涯学習課長、答弁願います。

○生涯学習課長（寺内智恵子君） 生涯学習課、寺内でございます。よろしくお願いいたします。

ご質問にお答えいたします。二十二歳の集いの開催の中の委託料、手話通訳でございますが、こちらについては通常の成人式におきましても今まで計上しておりました。障害のある方がもしご参加というときに、手話通訳を必要ということで計上させていただいているものでございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 三澤委員。

○委員（三澤隆一君） 二十二歳の集いに関しては、その手話通訳さんがいるということは、何かをやるかという方向性が決まっているのではないですかということでお聞きしたので、行事内容をお聞きしたかったのが、どういったことを二十二歳、成人式できなかった子供たちのためにやるのかということと、あとその部活動指導員のほうは分かりました。

それで、一番最初に話した生活指導対策、これ警察のOBとかの方ですね。これ落ち着いたということで昨年より予算が半分になったということで、1名になったということだと思うので、これは結構です。

それで、一番最初に質問した心の相談のほうなのですが、心の教室相談員。これは前回質問したときは、不登校に至る事前の対策としてということではなかったのですけれども、実際に不登校になってしまった児童の生徒の数、あとその生徒に対しての対策をちょっとお聞きしたいと思います。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 秋山委員出席です。

初めに、野口指導課長、答弁願います。

○指導課長（野口 修君） お答えいたします。

令和3年度につきましては、不登校の生徒ですけれども、小学校につきましては24名、これは1月末現在の数でございます。中学校につきましては126名が不登校ということになってございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、寺内生涯学習課長、答弁願います。

○生涯学習課長（寺内智恵子君） お答えいたします。

二十二歳の集いにつきましては、簡単な式典とあとは何かイベント等重ねて実施できるかということで、現在調整をしているところではございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 三澤委員。

○委員（三澤隆一君） では、先ほどちょっと漏れたのですが、対策ですね。その不登校の子供たちに対

する対策だけ最後。

○委員長（藤澤和成君） 野口指導課長。

○指導課長（野口 修君） 失礼いたしました。学校では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置しております。特にスクールカウンセラーが相談に乗って、悩み等を聞いてということをして、できるだけ不登校にならないように、また学級や学校の雰囲気を明るく、子供たちが仲よく過ごせるように、いじめなどがないようなフォーラムとか、学級活動とかをやりながら、不登校にならないように、学校に魅力があって登校できるように学校として対応してございます。

先ほど、すみません、不登校の数を言ったのですけれども、解消された数もありまして、小学校では97名、中学校が67名の児童生徒が解消して学校のほうに通えるようになったということがあります。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 水柿委員。

○委員（水柿美幸君） お疲れさまです。私のほうから何点か質問させていただきます。

まず、明野公民館改修事業、235ページです。上のほうにあります、明野公民館、中は結構新しくなってきましたが、その中で屋外のトイレというのも設置されておまして、それがこの改修工事の費用の中に含まれているのかというのを1つお聞きします。

また、それと同時に明野公民館の、233ページ、1つ前に戻っていただいて、明野公民館の管理運営事業の中で樹木剪定伐採委託料というのがありますが、ほとんど軒並みこの樹木剪定とかというのと38万円ぐらいの予算ついていると思うのですが、この中に明野公民館にはイル・ブリランテがありまして、いろいろな市内、市外からもたくさん人が、コロナがなければたくさん来るのですが、そこに花壇がありまして、その花壇の費用というのが入っているかどうかというのをお聞きします。

それから、223ページ、明野地区義務教育学校整備事業の中で義務教育を整備するに当たって空き校舎が小学校出るといいます。その中で借地もあるとお聞きしました。借地がある小学校がどこなのかというのをお聞きしたいと思います。まずは3点で。

○委員長（藤澤和成君） では、初めに古宇田明野公民館長、答弁願います。

○明野公民館長（古宇田修一君） 明野公民館の古宇田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

委員さんのお話からいただいたとおり、改修事業につきましては、令和4年度屋根と外壁の改修、それと変電設備の改修ということで、大きくは予算の計上はその点でございまして、屋外のトイレの整備につきましては含まれてございません。屋外のトイレでございまして、施設の長寿命化計画といったものがございまして、その計画では令和6年度の改修計画に含まれてございます。ただ、利用者の方の利便性の向上のため、令和6年度とは言わずに、少しでも早くトイレを改修できるよう考えてございますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

花壇のほうですが、委員さんにおかれましては、ボランティア団体の皆様と毎年きれいなお花を咲かせていただきまして、ありがとうございます。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

花の苗や肥料などの費用なのでございますが、これまで明野公民館管理運営事業の予算から支出してございましたが、令和4年度におきましても同様に、この管理運営事業からの支出を考えてございます。金額につきましては、限られた予算でございまして、ご相談の上、進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、市塚義務教育学校整備推進課長、答弁願います。

○義務教育学校整備推進課長（市塚文夫君） お答えいたします。

学校跡地の中で借地がある小学校につきましては2校ございまして、1つが大村小学校で528平米、もう1つが鳥羽小学校となりまして、3,722平米でございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 水柿委員。

○委員（水柿美幸君） ありがとうございます。屋外トイレが令和6年と言わず考えていただくということと、花壇のほう考えていただくということ、ありがとうございます。

それから、これ借地が2件、大村小学校と鳥羽小学校があると言いましたが、これは返すことになるのか、どういうふうな扱いになるのか。また、その空き校舎を利用して文化財を保存してほしいとかいう意見もあったので、空き校舎を利用するに当たって、その検討委員会が立ち上がったようなお話をお聞きしましたので、それがどういう感じで進められているのかということをお聞きしたいと思います。

それと、いいですか。先ほど三澤委員がおっしゃっていましたが、221ページの部活動指導員なのですが、昨年度は1名で、令和4年度5名ということなのですが、どういう部活に配置が予定されているのかというのをお聞きします。これは4月から部活動が希望制になるとかというふうにお話を伺ったので、ちょっとお伺いします。

それと、217ページの上から2つ目、学校問題解決支援事業、これはどういうことなのか、お伺いしたいと思います。

○委員長（藤澤和成君） 初めに、市塚義務教育学校整備推進課長、答弁願います。

○義務教育学校整備推進課長（市塚文夫君） お答えいたします。

まず、学校跡地の利活用の進め方につきましては、重要政策調整会議を2回開催していただきまして、その中で学校跡地の利活用検討委員会を1月28日に組織化して開催したところでございます。その後2月10日、3月11日と2回のワーキングの会議を開催しておりまして、その中で学校施設の現況と課題の整理と学校跡地の利活用方針、どのように活用していくのかということも検討しているところでございます。

当然借地の問題につきましても、閉校となった場合には借地の当初の目的は達成したといえますか、喪失したことになりますので、その辺も加味して検討委員会の中で今後検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 野口指導課長、答弁願います。

○指導課長（野口 修君） ご答弁いたします。

令和4年度の部活動指導員については、下館北中学校の卓球、それから協和中学校のサッカー、この2つを予定しておりますが、あと3つについては今調整中でございます。学校等の要望を聞いて配置していきたいと思います。

学校問題の解決支援につきましては、いじめなどの生徒指導の問題の解決のためにいろいろなケースに応じた支援をするときに配置をしてございます。いじめに対する対応、いじめがないようにどうしたらいいかを教員と話し合ったり、いじめのない学校生活が送れるような対応が取れるようにということで配置

してございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 水柿委員。

○委員（水柿美幸君） 学校跡地については分かりました。

部活動指導員のほうですが、今先生の働き方改革とか、それによって部活動の時間も大分制限されてきてしまっていて、強くなりたい子はもしかしたら公立に入ってこれなくなってしまうかもしれませんし、そういう意味でこの地域のスポーツのほうをどういうふうに考えているのかということもちょっとお考えを伺いたいなということと、中学校で保健室ではなく、夜間に来ている子がいらっしゃるとお伺いしたので、そういうのがこの学校問題解決のほうに入っているのかなとは思ったのですが。

それと、あと213ページの外国語指導経費、外国人の方は何人くらいいて、どのような働き方をしているのか。

○委員長（藤澤和成君） 野口指導課長、答弁願います。

○指導課長（野口 修君） お答えいたします。

まず、部活動の今後につきましてですが、休日の部活動については地域に移行したいということで、段階的に地域の部活動に移行していくということを考えております。令和5年度までに市内の最低1つの部活について地域に移行。令和10年度については、休日につきましては全ての部活動を地域に移行したいというふうに今取組を始めるところでございます。

民間のスポーツクラブなどと連携、そういうところも視野に入れながら、どんな形がいいかということを含めて今後考えていきたいと思っております。

次に、夜間の対応ということですが、なかなか学校に昼間の時間来られない、友達と会えないお子さんもいらっしゃいますので、児童や生徒が帰った後に先生に会って話をしたり、そういうことを対応しておりますが、その指導員につきましては勤務時間の関係で、今のところ夜対応ということは行っていない。教員が行っているというのが現実でございます。

それから、外国語の指導についてですが、A L Tを15名市内で配置しております。小学校では3、4年生で週1時間、5、6年生で週2時間、中学校では週1時間以上、英語の授業に入って日本人教師とチームを組んで一緒に授業を指導しているということになってございます。

以上でございます。

外国人……

○委員長（藤澤和成君） 人数。

○指導課長（野口 修君） 15名。

（「大丈夫です」と呼ぶ者あり）

○指導課長（野口 修君） （続）失礼しました。

（「どうもありがとうございました」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） 大嶋委員。

○委員（大嶋 茂君） ページ211、概要書17、小中一貫教育推進事業なのですが、概要書はいろいろ書いてあるのですが、この予算書を見ると、一番下の下館中学校と下館北中学校ですか、統廃合に向けた予算ではないかと思うのです。それで、この概要、これ多分下館北中学校と下館中学校に対する予算かなと思

うのです。ですから、その概要について、まず1点お伺いします。

次に、219ページ、小学校施設営繕事業、これは工事請負費なのですが、どこの学校でどんな工事か。これが2点目。

次、225ページ、これは二十歳の集い開催事業、その下の住民情報システム（二十歳の集い）運営経費、二十二歳の集い開催事業、これは3つ関連すると思うのですが、その予定日と会場、またその内容をどういった内容で実施するのか伺います。

次に、概要書20ページ、ページ231、板谷波山生誕150年記念事業について委託料として上がっているのですけれども、委託先がどこであるのか。また、3美術館で展示をするということでございますけれども、180点をどういう割合で展示するのか。美術館、板谷波山記念館、廣澤美術館。やはりこれ何点ずつということで、お客様は興味があるところだと思います。来る方は全部回ると思うのですけれども、用事がある方なんかはやはり多いところを見て帰られるお客さんもいるのではないかと思います。まず、1回目の質問をお願いします。

○委員長（藤澤和成君） 初めに、市塚義務教育学校整備推進課長、答弁願います。

○義務教育学校整備推進課長（市塚文夫君） お答えいたします。

下館北中学校と下館中学校の令和5年4月の統合に向けまして、小中一貫教育推進事業の中の位置づけでございますが、まずは下館北中学校におきましては、統合によりまして下館中学校のほうの駐輪場の増設が必要となりますので、令和4年度には駐輪場の増設を見込んでございます。また、中学校ですと通学距離が6キロメートルを超える生徒についてスクールバスを運行する予定であります。そのため、スクールバスの乗降所につきまして、駐輪場を設置する経費として工事請負費のほうに計上してございます。

また、スクールバスの駐輪場における防犯カメラ、自転車の盗難等、また生徒の安全を確保するための防犯カメラの設置工事費のほうも予算として計上させていただいているところでございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、大木施設整備課長、答弁願います。

○施設整備課長（大木 清君） 施設整備課の大木でございます。219ページの小学校施設営繕事業、工事請負費875万円でございますが、こちらは幾つか工事内容がございまして、まず1つ確実に行うところは、大田小学校の防災シャッター改修工事がございまして、これは一度にできないところもございまして、毎年1か所ずつ修繕しているというところでございます。

あとは給水ポンプ受水槽とかの経年劣化によりますそういったものの修繕が毎年出ておりまして、1度出たら100万円は超えるような工事でございますが、給水ポンプ交換工事、また特別支援教室等がクラスも原則8名程度ということでございますので、そういった増加があった場合に対応するためにパーティション設置工事、教室を半分に分けたりとか、そういったパーティション。教室とか、特別教室等を使う場合にエアコンが未設置の場合もありますので、エアコン設置工事、また遊具が全体的に老朽化していますので、遊具撤去または更新工事や防火設備などございまして、小学校20校全体的な工事費ということでございます。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、寺内生涯学習課長、答弁願います。

○生涯学習課長（寺内智恵子君） 委員さんのご質問にお答えいたします。

まず、二十歳の集い開催事業でございますが、こちらにつきましては、筑西市合併当時より下館、関城、明野、協和、4会場で実施をしておりました。今年度につきましては、コロナ禍ということの分散開催で、7会場で実施をしておりますが、基本4会場での実施を考えております。

また、コロナ禍という状況ですので、開催方法も含め検討はしているところでございます。

次に、二十二歳の集いでございますが、筑西市では今まで実際当日来ていただいた方に参加という形式を取っていたのですが、二十二歳の集いにつきまして事前に出欠を取りまして、人数を把握した上で実施はしたいと考えてございます。会場につきましては、二十一歳の集いを実施した近隣の市町村の様子なども検討しまして、会場のほう今調整をしているところでございます。

あと、住民情報システム（二十歳の集い）運営経費につきましては、こちらは二十歳の集いに該当する方を住民基本台帳のほうから抽出する作業の経費でございます。

開催日につきましては、二十歳の集いにつきましては例年成人式典を実施しておりました1月を予定してございます。二十二歳の集いにつきましては、開催方法も含め、別のイベントとの抱き合わせとか、イベント性も考えて日程的なものも今検討はしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 続いて、小栗美術館副館長、答弁願います。

○美術館副館長（小栗美代子君） 美術館、小栗と申します。よろしくお願いいたします。

質問にお答えいたします。板谷波山生誕150年記念事業の委託先でございますが、筑西市板谷波山生誕150年記念事業実行委員会のほうに一括で委託しております。

また、3館の出品作品、この後180点の明確になってきまして、今総数177点でございます。その内訳でございますが、しもだて美術館に124点、板谷波山記念館が2点、廣澤美術館が51点の予定でございます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 大嶋委員。

○委員（大嶋 茂君） 小中一貫教育推進事業の予算は、あくまでもこれは下館北中学校と下館中学校の関係の予算ですね。この概要書を見ますと、かなり3つ書いてありますけれども、分かりました。答弁はいいです。大体分かりましたから。

あとは大体分かりましたので、結構です。

○委員長（藤澤和成君） いいですか。

秋山委員。

○委員（秋山恵一君） 233ページ、地区公民館改修事業についてお伺いします。下館地区には10地区の中に公民館がありまして、そのうち5地区の公民館のトイレが和式で、小中学生やご高齢の方々から非常に使いづらいという苦情を受け、昨年の春先をお願いしたままになっております。そこで、その後の進捗状況についてお伺いする次第です。

○委員長（藤澤和成君） それでは、答弁願います。

海老澤地域交流センター長。

○地域交流センター長（海老澤敦司君） それでは、地区公民館改修事業につきましてご報告いたします。

下館地区公民館のトイレ洋式化工事の進捗状況につきましてご報告申し上げます。こちらの事業につきましては、地区公民館の老朽化対策と新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、地区公民館5館、

伊讃、川島、竹島、養蚕、中公民館の和式トイレを蓋のある洋式トイレに改修し、感染症リスクを低減させるとともに、新しい生活様式への移行を図るため、実施している事業でございます。令和3年12月末から各地区ごとに工事契約を整え、工事を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大によりまして、世界的な半導体の供給不足、こちらの影響を受けまして使用予定の衛生器具、ウォシュレット等の納期が不透明となりました。令和4年3月末の工期内で工事完了が見込めるのは、伊讃、竹島、中公民館の3館でございます。残りの川島、養蚕公民館につきましては、工事完了が難しくなってきたことから、令和4年6月末まで工期を延長し、工事を進めてまいります。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 秋山委員。

○委員（秋山恵一君） さらにスムーズな進捗をお願いして終わります。

○委員長（藤澤和成君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） 3点ほどお伺いします。

ページ数でいいますと予算書の231ページ、地域交流センター管理運営事業というのがあります。これはほかの建物と比べて需用費が桁が違うほどあると思うのですが、想像するにはこれ美術館の光熱費ということなのかなと思うのですが、それにしても随分需用費が計上されております。この内訳をちょっとお伺いしたいと思います。

それと、その下の同じページ、下館地区公民館管理運営事業、これ先頃の一般質問でも私やったのですが、またやっぱりついているのだなという印象ですが、この報酬費、これはいるところといないところとあると思うのですが、このいる理由、これを明確にちょっと分かりやすく教えていただければと思います。

続きまして、241ページ、体育施設管理運営事業です。これもそっくり委託をしているわけではありますが、このPDCAといいますか、やっているとは思いますが、私たちから見るその費用対効果がはっきりよく分からないのですよね。どの辺にメリットがあって、どういうふうな効果があるのか。その辺もちょっと明確にお伺いしたいと思います。その3点お願いします。

○委員長（藤澤和成君） では、初めに海老澤地域交流センター長、答弁願います。

○地域交流センター長（海老澤敦司君） 地域交流センターの管理運営事業といたしまして、その中で一番金額の大きなものといたしまして空調の燃料代でございます。こちらが年間約2,000万円、そのほか光熱費といたしまして電気料、こちらが約3,000万円、上下水道料が380万円、こういった金額になっております。

次に、地域交流センターの活動費でございます。こちらの報酬でございますけれども、公民館運営審議会、こちらの委員さん9名分の……

（「下館地区公民館管理運営事業の」と呼ぶ者あり）

○地域交流センター長（海老澤敦司君） （続）失礼いたしました。会計年度任用職員でございますが、こちらが各地区公民館の館長……失礼いたしました。こちらは会計年度任用職員、各地区公民館の館長9名、社会教育指導員10名、事務員9名の報酬となっております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 増田スポーツ振興課長、答弁願います。

○スポーツ振興課長（増田 茂君） スポーツ振興課長の増田です。お答えしたいと思います。

体育施設管理運営事業でございますが、指定管理にしたメリットということでございますが、市体育施設の維持管理につきましては、市の指定管理者に管理業務に関します仕様書に基づきまして、指定管理者との提案事業を通して進めているものでございます。また、市が直接運営しているときには、施設のほうの利用の受付や利用者が安心して施設を利用できるような適切な施設管理に努めてまいったところでございます。また、今回市体育施設を指定管理者に委託したことによりまして、民間事業者によります実質的な市民サービスにつながるような事業が多少なりとも実施できたことは、体育施設の新たな利用価値を高めることができたと思っております。

来年度最終年度とはなりますが、指定管理者とともにさらなる市民サービスにつながるような対応をしてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 海老澤地域交流センター長、答弁願います。

○地域交流センター長（海老澤敦司君） 失礼いたしました。先ほどの地区公民館管理運営事業の中で各地区公民館の職員、こちらの配置理由といたしまして、各地元での活動、こちらを補助するという形がありまして、こちらに館長、あとは指導員、あとは事務員、こちらの配置は続けて配置していければと思っております。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） その地域交流センターのほうからなのですが、やはり光熱費ということで、ただこれはずっと存続する、重要な建物だと思いますので、可能性としてその再生可能エネルギーでの対応といたしますか、そういうふうな今どんどん技術的にも進歩していますので、そういった可能性、いつもいつもこれは燃料費なのだということではなくて、電気料だということではなくて、そういった可能性はいかがかということ。

次に、地区公民館、ずっと使っていきたいのだということでありましたが、部長との答弁、やり取りの中で、可能性としてそのいわゆる自治会に、コミュニティセンターとしての扱いにして、自治会で管理してもらいたいのだと、私はそういう方向性が一番いいのではないのかなと思うのですよね。やはり慣例や慣習で今まで来ていて、ずっとこれを続けていくのだという考え方ですが、私はそういう自治会で好きに使ってもらって、こういう無駄な予算とは言いませんが、私はこういう人件費なんていうのは必要ないのではないのかなと考えます。今年度は反対はしませんが、時間がありますので、やはりその辺は、部長言っていましたよね。何か協議会があって、答申もしているのだという中で、やはり1年かけて考えるべき問題なのではないのかなと提案します。

続きまして、体育施設の管理運営事業なのですが、これは先ほどちょっと何かよく話が、その市民サービスという中でメリットをおっしゃっていましたが、先ほど言いましたが、PDCA、これ検証すれば必ずその声が出てくると思うのです。ただ、私も一市民として明確なるその費用対効果、これよかったなと、管理をお願いしてよかったなというのが見えないのですよね。見えないから聞いているのですが、逆に前回ずっとシルバー人材センターさんでやってきたと思うのですが、実際これ1億4,000万円も出ていますよね、あの予算が。それで、実際には大規模な修繕や改修は市でやるわけです。ちょっと鍵が壊れたぐらいのちっちゃいのはやるかも分かりませんが、ただ1億4,000万円の中で。前回やってきたそのシルバー人材

センターさんとの値段の費用の対比なんかも必要だと思うのです。

それと、さっき仕様書に基づいてと言っていましたが、あまりがちがちにしまうと、仕様書、仕様書でやっているのです、こういう声もあるのです。今運動場やスポーツ施設の使用なんかも時代とともに変わってきているのです。それで多いのが、私なんかに届けられる声が多いのが、シルバーさん、お年寄りがゴルフに似たやつ、名前何ていうかちょっと分からないですが、ゴルフみたいなことをやっているのです。ああいうものの場所がないのだと。もっとやれるところがないかなんていう話があるのですが、なかなかその仕様書にないかどうか分かりませんが、指定管理でそういう委託してしまうと、その辺も柔軟にその役所のほうから働きかけをして、やはりそういった老人会というのですか、そういうシルバーさんがもっと使いやすくなるような、がちがちにしないで、そういったやっぱり柔軟性も必要なのだと思います。

以上の3点、ちょっともう1度明確なその体育施設に関して、やはり来年が最終年度と。私はその試験的にやった、試験的という言い方は語弊がありますが、私はこれで費用対効果がなければ戻ることを選択肢だと思うのです。そういうことも含めて、ちょっともう1度お伺いしたいと思います。

○委員長（藤澤和成君） 初めに、海老澤地域交流センター長、答弁願います。

○地域交流センター長（海老澤敦司君） 委員さんのおっしゃるとおり、地区公民館の在り方も今後考えていかなくはいけないということで、地元自治会等の協力も得ながら、今後説明会等も進めていきまして、できるだけ地元で迷惑のかからないような公民館施設の運営ということを考えていきたいと思っています。

以上でございます。

（「財政関係は」と呼ぶ者あり）

○地域交流センター長（海老澤敦司君） （続）すみません。管理運営事業のほうで再生燃料等に関しましては、今後アルテリオの大規模改修等計画してまいりますので、その中でできるだけ省エネルギー化を図っていききたいと思っています。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 増田スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（増田 茂君） お答えいたします。

指定管理、先ほどメリットということでご説明はさせていただいたところでございます。その中で指定管理者独自でアンケート等の実施をいたしまして、市民サービスの向上に努めているところでございます。その内容につきましても、当然担当課といたしましてその内容をチェックして、それがそのとおりになっているか、見込めるものか等についても内容を確認しているところでございます。今後その費用対効果等が見込めなければ逆戻りということも検討したらどうかということではございますが、現段階で来年度指定管理者とともに、再度繰り返しになってしまいますが、体育施設を安心して利用でき、さらに市民が生涯にわたってスポーツ活動が楽しめるような状況をつくるように努めていきたいと思っています。来年度、また新たな指定管理業務の選定に向けて、仕様書等の作成はしているところでございますが、その仕様書の中で今現在の指定管理を行っている業務の中で当然見直し等を行って、それをさらに市民サービスのほうにつなげるような状況も出てくるところもございますので、その中でしっかりと調査をして、また検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 田中委員。

○委員（田中隆徳君） では、その体育施設だけちょっと1点。

やはりその抽象的なことではなくて、数字が欲しいわけですよ。結局1億4,200万円も出ているわけですよ、数字が。これ1行だけです。指定管理委託料。何をどのぐらい使って、どのぐらい剪定にを使って、どのぐらい刈り込みに使ってとか、そういう数字と、その前やっていたいたシルバー人材センターですか、何ていうのですか、ああいうのは。シルバー人材センターさんにやってもらった。そのときはこのぐらいかかったよと。やっぱり数字の対比もなさずに、そのサービス、サービスと言っても、よく分からないのですよね。だから、やはりそれは今この内訳を出してくださいということは言いませんが、やはりそのぐらいのシルバー人材センターのときはこのぐらいかかって、この指定管理ではこのぐらいで済むのだというような明確なその数字で教えてもらわないと、サービスが云々というのはちょっといかがかなと思います。

それと、最後ちょっとこれ意見として、市民の声としてお伝えしておきますが、明野公民館の東側のちょうど駐車場の左側の土手のところに桜だと思うのですが、木があるのです。声として、あれ何本か台風のとときに折れたような話だったのですが、駐車場側に倒れたからよかったけれども、あれ道路を挟んで向こうにやごみがあるのですよね。そこに直接行ってしまうと危ないよとか、そこに人がたまたまいたら、えらいことになってしまうよというような声が何人かからちょっと伺いました。やはりあの樹齢も結構たっていると思うのですが、その辺の根腐れなんかも含めて、もう倒れているということなので、何本か。その辺気をつけて管理していつてもらえればと思います。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） それから、先ほど大嶋委員の質問に対して市塚義務教育学校整備推進課長から答弁がありますので、聞いてください。

○義務教育学校整備推進課長（市塚文夫君） すみません。先ほど私のほうの説明がちょっと足りなかったのかなと思っておりまして、211ページ、小中一貫教育推進事業のうち、まず1番の報酬につきましては、基本的には学校の在り方検討委員会の委員報酬と明野地区準備委員会での委員報酬になりますので、それと13番、使用料及び賃借料につきましては、プールの共同利用ということで明野中学校、関城中学校、あと今建設しております協和中学校の拠点校プールを小学校のほうでも共同利用する事業経費となりますので、そこだけ説明が足りなかったのですが、ご理解いただければと存じます。

以上でございます。

○委員長（藤澤和成君） 以上で教育委員会関係を終了いたします。

教育委員会の皆様、お疲れさまでした。

〔教育委員会退室。農業委員会入室〕

○委員長（藤澤和成君） 最後に、農業委員会関係について審査を願います。

では、質疑を願います。

赤城委員。

○委員（赤城正徳君） 農業委員会には耕作証明書をお金いただいていると思うのですが、この証明書は1通幾らなのでしょうか。

○委員長（藤澤和成君） それでは、答弁願います。

菊地農地調整課長。

○農地調整課長（菊地雄一君） お答えいたします。

1通450円でございます。

以上です。

○委員長（藤澤和成君） 赤城委員。

○委員（赤城正徳君） それで、では450円。近隣の市町村に行くと、どこも取らないのですよね。筑西市だけなのです、この耕作証明書というのを取っているのは。そこらのところを検討してくれないでしょうか。

○委員長（藤澤和成君） 菊地農地調整課長、答弁願います。

○農地調整課長（菊地雄一君） 現在農業委員会の収入になる部分といたしまして、継続して450円いただいているわけなのですが、近隣の状況等もちょうと調査した上で、引き続き450円いただけるような、収入がなくなってしまうので、周りの状況というのもあるのですが、引き続きこのままいただいているような状況を続けたいと思うのですが。

○委員長（藤澤和成君） 赤城委員。

○委員（赤城正徳君） 10万都市筑西の農業委員会だから、他町村から来たら、ああ、筑西市だけが取られるのよ。では、筑西市の市民は他町村に行ったらただだと、みんな取らないです。何で筑西市だけは取るのでしょうかという意見が多かったというよりはほとんどです。ぜひとも検討を願いたい。

（「ほかなし」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） よろしいですね。

では、以上で農業委員会関係を終わります。

農業委員会の皆様、お疲れさまでした。

〔農業委員会退室〕

○委員長（藤澤和成君） 以上で本委員会に付託された議案第19号「令和4年度筑西市一般会計予算」から議案第27号「令和4年度筑西市農業集落排水事業会計予算」まで、以上9案の審査は終了いたしました。討論を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（藤澤和成君） 討論を終結いたします。

これより逐条採決いたします。

表決の方法は、挙手による表決といたします。

まず、議案第19号「令和4年度筑西市一般会計予算」について、原案のとおり決するに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手多数。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第20号「令和4年度筑西市国民健康保険特別会計予算」について、原案のとおり決するに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手多数。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第21号「令和4年度筑西市後期高齢者医療特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手多数。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第22号「令和4年度筑西市介護保険特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手多数。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第23号「令和4年度筑西市介護サービス事業特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手多数。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第24号「令和4年度筑西市病院事業債管理特別会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり決することにいたしました。

次に、議案第25号「令和4年度筑西市水道事業会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第26号「令和4年度筑西市下水道事業会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第27号「令和4年度筑西市農業集落排水事業会計予算」について、原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤澤和成君） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決することに決しました。

以上で本委員会に付託されました議案等の審査は全て終了いたしました。

本委員会の審査結果報告につきましては、委員長に一任いただきたいと存じます。

これをもちまして、予算特別委員会を閉会いたします。

長時間にわたり慎重なる審議、大変ありがとうございました。お疲れさまでした。

閉 会 午後 0時 6分